

1 基本項目	事務事業名	河川維持事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	河川維持事業				係名	維持管理係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	河川費
		施策名	11 災害に強いまちの形成				目	河川総務費
基本事業名		11-1 浸水対策の強化			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	異常気象や都市化による浸水被害対策や、河川の機能維持・回復のために維持補修を行う	
	対象	普通河川等	
	手段 (活動指標)	河川等の改修や修繕の必要な箇所を把握する	
	意図 (成果指標)	河川の改修、維持修繕を行い河川機能の維持・回復を行う	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 河川等の改修や修繕の必要な箇所数	件	50	62	50	50	100.0%	50
	②							
	③							
成果指標	① 改修や修繕により機能の維持や回復を行った箇所数	件	40	50	40	44	110.0%	40
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円	13,000,000	12,252,450	12,512,461	12,464,172	1.7%	19,500,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	500,000	102,057	987,539	484,648	374.9%	500,000
	支出合計 (A)	円	13,500,000	12,354,507	13,500,000	12,948,820	4.8%	20,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			5,000,000	5,000,000		
	⑤一般財源	円	13,500,000	12,354,507	8,500,000	7,948,820	-35.7%	20,000,000
	収入合計	円	13,500,000	12,354,507	13,500,000	12,948,820	4.8%	20,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	8	9	9	9	0.0%	8
	②年間所要時間	時間	3,200	3,220	3,200	3,740	16.1%	3,500
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	13,440,000	13,524,000	13,440,000	15,708,000	16.1%	14,700,000
	総費用(A+B)	円	26,940,000	25,878,507	26,940,000	28,656,820	10.7%	34,700,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	河川の改修、維持修繕工事による河川機能の維持や回復 河川改修工事19件 の実施	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)
目的の妥当性					1 妥当である	総合計画の施策に則している	
対象の妥当性					1 妥当である	総合計画の基本事業に則している	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	1 高い	100%を超えている	
				類似事業の有無	1 なし	他の事務事業はない	
				上位施策への貢献度	2 普通	改修や修繕を行い貢献している	
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	施工方法や使用材料を精査し、コスト削減に努めている	
				実施主体の適正化	1 適正である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)	
				負担割合の適正化	1 適正である	法令などにより市による実施が義務付けられている(準用河川)	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果及び今後)	安全で快適な暮らしやすいまちを実現するには不可欠な事業であるため、安全性を考慮した工法を採用しながらコスト削減を図り、現状を維持していけるように進めていく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道改良舗装事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	市道改良舗装事業				係名	維持管理係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成元以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路新設改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市民がより安心して健やかに暮らせるまちづくりのため、市民生活に支障がある市道の拡幅改良、路肩改良、舗装新設等の工事を実施する。また、事業用地が不足する場合は、地元関係者と協議を行い用地補償を行う。	
	対象	市内の市道	
	手段 (活動指標)	市道の改良・舗装工事の実施を行う。	
	意図 (成果指標)	道路改良工事、舗装工事により安全性、利便性を向上させる。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市道延長	m	402,467	402,467	402,500	404,997	100.6%	402,550
	② 道路改良延長	m	308,364.0	308,364.0	308,500.0	311,261.1	100.9%	308,550.0
	③ 舗装済延長	m	378,500	378,522	378,600	381,158	100.7%	378,650
	① 市道改良率	%	76.6	76.8	76.8	76.9	100.1%	78.0
	② 市道舗装率	%	94.0	94.1	94.0	94.1	100.1%	95.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	4,000,000	1,437,717	4,000,000	2,937,476	104.3%	3,500,000
	③ 工事請負費	円	80,000,000	79,823,100	53,200,000	53,074,440	-33.5%	43,700,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	5,800,000	2,668,011	2,800,000	240,104	-91.0%	2,800,000
	支出合計 (A)	円	89,800,000	83,928,828	60,000,000	56,252,020	-33.0%	50,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	50,000,000	59,000,000				
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						37,500,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円			41,500,000	44,349,547		
	⑤ 一般財源	円	39,800,000	24,928,828	18,500,000	11,902,473	-52.3%	12,500,000
	収入合計	円	89,800,000	83,928,828	60,000,000	56,252,020	-33.0%	50,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	4
	② 年間所要時間	時間	2,000	2,120	2,000	1,760	-17.0%	3,000
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	8,400,000	8,904,000	8,400,000	7,392,000	-17.0%	12,600,000
総費用 (A+B)	円	98,200,000	92,832,828	68,400,000	63,644,020	-31.4%	62,600,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市道改良工事14件	市道舗装工事6件 の実施

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進することを目的としているため。
対象の妥当性					1 妥当である	総合計画に則り、市道に対して改良舗装しているため。
有効性	有効性	C	B	目標達成度	2 目標どおり	地区・住民の拡幅・新設舗装要望に平成26年度計画したことが達成できたため。
				類似事業の有無	1 なし	上記総合計画に則っているのは、改良舗装事業のみであるため。
				上位施策への貢献度	2 普通	市道を改良・舗装することで、快適な道路機能の強化に直結させているため。
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	道路改良工事を実施する際、工法選定においてコスト面で有利な資材等を使用しているため。
				実施主体の適正化	1 適正である	道路法により市に管理が定められている。
				負担割合の適正化	1 適正である	公共交通の利便性を確保するものであることから、一部の者に負担させることは適正ではないと思われるため。
1次評価 (課長総括)		B	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
後の方針)	評価結果 (課題及び今後)	安全で快適な暮らしやすいまちを実現するには不可欠な事業であるため、安全性を考慮した工法を採用しながらコスト縮減を図り、現状を維持していけるように進めていく必要がある。				評価結果

1 基本項目	事務事業名	市道維持補修事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	市道維持補修事業				係名	維持管理係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成元年度以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路維持費
基本事業名		16-3 道路維持管理体制の強化				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市民が安全かつ安心して通行できるよう市道を維持修繕し、健全な道路としての機能・環境を保全する。	
	対象	市内の市道	
	手段 (活動指標)	市道の改修や修繕の必要な箇所を把握する。	
	意図 (成果指標)	市道の改修や修繕工事を実施し、機能の回復を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 市道の改修や修繕の必要な箇所数	件	160	286	200	218	109.0%	200	
	②								
	③								
	成果指標	① 市道の改修や修繕工事を実施して、機能が回復した箇所数	件	132	258	180	211	117.2%	180
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	8,575,000	7,687,995	8,847,700	8,788,070	14.3%	9,746,000
	② 委託料	円	1,800,000	1,558,316	1,696,440	1,687,388	8.3%	3,360,000
	③ 工事請負費	円	26,000,000	25,373,502	26,015,000	26,014,758	2.5%	26,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	1,677,000	1,708,505	1,912,300	1,842,464	7.8%	2,792,000
	支出合計 (A)	円	38,052,000	36,328,318	38,471,440	38,332,680	5.5%	41,898,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	14,968,000	15,193,003	14,855,000	15,494,553	2.0%	18,418,000
	⑤ 一般財源	円	23,084,000	21,135,315	24,220,000	22,838,127	8.1%	23,480,000
	収入合計	円	38,052,000	36,328,318	39,075,000	38,332,680	5.5%	41,898,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	11	11	11	10	-9.1%	10
	② 年間所要時間	時間	4,000	4,920	4,000	4,780	-2.8%	4,780
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	16,800,000	20,664,000	16,800,000	20,076,000	-2.8%	20,076,000
	総費用(A+B)	円	54,852,000	56,992,318	55,271,440	58,408,680	2.5%	61,974,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	道路構造物の維持補修(道路面の陥没補修、側溝補修、通行に支障となる雑木等の除去)	
	市道維持補修(工事)	35件 の実施
	市道維持補修(修繕)	32件 の実施

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	総合計画の施策に則している
対象の妥当性					1 妥当である	総合計画に則り、市道を維持管理しているため。
有効性	有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	地区や住民などの要望を達成できたため。
				類似事業の有無	1 なし	上記総合計画に則っているのは、維持補修事業であるため。
				上位施策への貢献度	2 普通	市道を維持管理することで、道路機能の保全に努めているため。
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	施工方法や交通状況などを勘案し、コスト縮減に努めている。
				実施主体の適正化	1 適正である	道路法により市に管理が定められている。
				負担割合の適正化	1 適正である	一部の者への負担は、公共交通の機能の確保には、適正ではないと思われるため。
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後の方針 (評価結果及び今後)	安全で快適な暮らしやすいまちを実現するには不可欠な事業であるため、安全性を考慮した工法を採用しながらコスト縮減を図り、現状を維持していけるように進めていく必要がある。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	土木災害応急措置事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	土木災害応急措置事業				係名	業務係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1028		
	事業期間	開始年度		終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目目	款	諸支出金
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	災害応急措置費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	災害応急措置費
基本事業名		16-3 道路維持管理体制の強化			アウトソーシング導入状況		導入済（業務委託）	
根拠法令	道路法第42条第1項			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	降雪や自然災害による生活道路の復旧及び安全確保、快適な暮らしやすい街づくりのための除雪計画立案					
	対象	市道（除雪路線）					
	手段 (活動指標)	災害発生時及び降雪時における生活道路の復旧、除排雪業務					
	意図 (成果指標)	災害発生時及び降雪時に迅速かつ的確に道路復旧・除排雪を行い、生活道路の安全を確保する。					

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 除排雪業務を委託している業者数	業者	50	50	50	50	100.0%	50
	② 除排雪業務委託料（機械管理費含む）	円	99,420,000	65,385,944	77,790,000	156,748,938	201.5%	93,000,000
	③ 消雪施設維持管理費事業補助金	円	1,700,000	1,601,400	1,750,000	1,492,100	85.3%	1,750,000
	① 除雪路線延長	km	248	248	250	250	100.0%	250
	② 地域の消雪施設を管理している地区数	地区	34	33	35	33	94.3%	35

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	21,100,000	17,836,578	24,422,600	23,110,927	29.6%	20,118,000
	② 委託料	円	99,971,620	75,075,244	240,972,750	177,125,998	135.9%	88,550,000
	③ 工事請負費	円	7,700,380	7,664,722	42,282,000	34,999,764	356.6%	1,500,000
	④ 負担金補助及び交付金	円	3,519,400	3,179,755	3,444,000	3,167,620	-0.4%	3,290,000
	⑤ その他	円	23,697,600	20,416,940	40,010,650	34,765,798	70.3%	26,837,000
支出合計（A）		円	155,989,000	124,173,239	351,132,000	273,170,107	120.0%	140,295,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	19,600,000	15,776,179	44,305,000	35,769,509	126.7%	21,925,000
	② 県支出金	円	1,033,000	173,000		77,000	-55.5%	
	③ 地方債	円						1,400,000
	④ その他（使用料、雑入等）	円	101,000	114,486	101,000	122,493	7.0%	101,000
	⑤ 一般財源	円	135,255,000	108,109,574	306,726,000	237,201,105	119.4%	116,869,000
収入合計		円	155,989,000	124,173,239	351,132,000	273,170,107	120.0%	140,295,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	11	11	11	11	0.0%	11
	② 年間所要時間	時間	5,500	5,500	5,500	6,000	9.1%	2,000
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	23,100,000	23,100,000	23,100,000	25,200,000	9.1%	8,400,000
総費用（A+B）		円	179,089,000	147,273,239	374,232,000	298,370,107	102.6%	148,695,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○H26.7.19の豪雨災害による災害応急復旧工事・作業</p> <p>○リース除雪機械の賃借期間の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース期間を12/5～翌年3/4までとしていたが、3月中旬まで降雪が見込まれたため、3/14まで期間を延長 ・3月下旬に降雪予報があったため、山間部の除雪業者に3/24～3/26まで貸出 <p>○魚津市NPO等除排雪活動推進モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（公社）魚津市シルバー人材センターが購入した小型除雪機費用の2/3を補助 ・（社）魚津市社会福祉行議会が発行した除雪ボランティア募集記事印刷代、除雪用スコップ等購入費の2/3を補助 	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
		妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性	1 妥当である				道路を良好な状態に保ち、交通に影響を及ぼさないようにするため、目的は妥当である。	
対象の妥当性	1 妥当である				市が道路管理者であるため妥当である。	
有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	除雪については全除雪路線計画どおり実施した。	
			類似事業の有無	1 なし	降雪・自然災害による市道の復旧措置事業の類似事業はない。	
			上位施策への貢献度	2 普通	道路の幅員等により除雪の実施が困難な路線もあり、検討が必要。	
効率性	B	B	コスト効率	2 普通	公共施設の除雪費は、建設課払下げの除雪機械を利用して各施設が対応するなど削減の余地はある。	
			実施主体の適正化	1 適正である	市が道路管理者であるため適正である。	
			負担割合の適正化	1 適正である	市が道路管理者であるため、適正である。	
1次評価 (課長総括)		B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
後の方針 (評価結果及び今)		災害発生時及び降雪時に迅速かつ的確に道路復旧・除排雪を行い、生活道路の安全を確保するよう努める。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	橋梁改修事業		担当部署	課名	建設課			
	予算事業名	道路改良事業			係名	整備改良係			
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1029				
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成34年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保					項	道路橋りょう費
		施策名	11 災害に強いまちの形成					目	道路改良費
基本事業名		11-3 耐震化の推進				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令	道路法				総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	全国的に橋梁の老朽化が問題となっている。魚津市においても建設後25年以上経過した老朽化橋梁が増えつつあり、今後損傷が顕著になる恐れがある。魚津市では5m以上の橋梁111橋について平成24年度に長寿命化修繕計画を策定し、管理橋梁の長寿命化によるコストの縮減と平準化に努めることとしている。計画に基づき優先度の高いものから順次補修を行っていくことにより、通行者等の安全を図りたい。
	対象	市が管理する市道橋における道路利用者。
	手続(活動指標)	詳細調査及び橋梁補修設計を実施し、補修工法を検討して補修工事を実施する。
	意図(成果指標)	道路利用者及び第三者被害の防止。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額(累計)	円	26,915,000	12,915,000	62,005,000	67,647,238	109.1%	125,719,238
	②							
	③							
成果指標	① 事業進捗率(累計)	%	9	4	21	23	109.5%	42
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	12,915,000	12,915,000	42,181,078	36,181,078	180.1%	5,000,000
	③ 工事請負費	円	14,000,000		41,428,379	18,551,160		53,072,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	26,915,000	12,915,000	83,609,457	54,732,238	323.8%	58,072,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	14,803,250	7,103,250	45,985,201	30,102,730	323.8%	31,939,600
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	10,900,000	5,240,000	33,800,000	22,100,000	321.8%	21,400,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円		571,750				
	⑤ 一般財源	円	1,211,750		3,824,256	2,529,508		4,732,400
	収入合計	円	26,915,000	12,915,000	83,609,457	54,732,238	323.8%	58,072,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	3
	② 年間所要時間	時間	760	760	760	1,100	44.7%	760
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,192,000	3,192,000	3,192,000	4,620,000	44.7%	3,192,000
	総費用(A+B)	円	30,107,000	16,107,000	86,801,457	59,352,238	268.5%	61,264,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	詳細調査及び橋梁補修設計、橋梁補修を実施した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	橋梁の老朽化を未然に防いだため高い
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	最低限の補修であり、適正である。
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後の方針(評価結果及び今後)	計画に基づき優先度の高いものから順次補修を行っていく。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	道路防災点検(のり面)事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名	16-3 道路維持管理体制の強化			アウトソーシング導入状況		導入予定なし			
根拠法令	道路法			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	平成8年度に実施した道路防災点検の調査箇所の再調査ならびに平成8年度点検以降に道路災害の発生した箇所及び災害の兆候が認められる箇所の点検及び調査を実施するものである。
	対象	市が管理する市道における道路利用者。
	手段(活動指標)	点検対象項目に従って点検箇所の安定度調査を実施し、対策工の提案ならびに防災カルテの作成。
	意図(成果指標)	道路利用者及び第三者被害の防止。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度 計画
			計画	実績	計画	実績	達成率	
活動指標 成果指標	① 事業執行額(累計)	円	5,000,000	0	5,000,000	4,428,000	88.6%	
	②							
	③							
	① 事業進捗率(累計)	%	100	0	100	100	100.0%	
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度 当初予算額
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	5,000,000		4,428,000	4,428,000		
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	5,000,000	0	4,428,000	4,428,000		0
財源内訳	① 国庫支出金	円	2,750,000		2,435,400	2,435,400		
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	2,020,000		1,700,000	1,790,000		
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	230,000		292,600	202,600		
	収入合計	円	5,000,000	0	4,428,000	4,428,000		0
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3		3	0.0%	
	② 年間所要時間	時間	160	160		460	187.5%	
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	672,000	672,000	0	1,932,000	187.5%	0
総費用(A+B)	円	5,672,000	672,000	4,428,000	6,360,000	846.4%	0	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	H26年3月補正により事業採択され、H26年度に道路法面の点検を実施した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市の実施が義務付けられている。
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当	
有効性	有効性	B	A	目標達成度	2 目標どおり	法面の危険箇所を把握できたため高い	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準どおりの点検であり、適正である。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
1次評価(課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の方針(評価結果及び今後)	今後も、定期的に防災点検を実施し、道路のり面の状態を把握する。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	路面陥没危険箇所調査事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名	16-3 道路維持管理体制の強化			アウトソーシング導入状況		導入予定なし			
根拠法令	道路法			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	道路の路面下の空洞に起因した陥没による第三者被害を防止する観点から、路面下に発生した空洞を発見し、陥没の予防措置を講じる。
	対象	市が管理する市道においての道路利用者。
	手段 (活動指標)	測定車による調査に加え、過去に陥没や空洞が発生した箇所と同様の条件の路線や地下埋設物が存在する路線を対象に調査する。
	意図 (成果指標)	道路利用者及び第三者被害の防止。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 調査完了 (累計)	路線	5,000,000	0	5,000,000	1,701,000	34.0%	
	②							
	③							
	① 調査完了箇所 (累計)	%	100	0	100	100	100.0%	
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円	5,000,000		1,701,000	1,701,000		
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計 (A)	円	5,000,000	0	1,701,000	1,701,000		0
財源内訳	①国庫支出金	円	2,750,000		935,550	935,550		
	②県支出金	円						
	③地方債	円	2,020,000		600,000	600,000		
	④その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	230,000		165,450	165,450		
	収入合計	円	5,000,000	0	1,701,000	1,701,000		0
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	
	②年間所要時間	時間	160	160	160	360	125.0%	
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	672,000	672,000	672,000	1,512,000	125.0%	0
総費用 (A+B)	円	5,672,000	672,000	2,373,000	3,213,000	378.1%	0	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	H26年3月補正により事業採択され、H26年度に空洞調査を実施した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当
有効性	有効性	0	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。
効率性	効率性	0	A	コスト効率	1 高い	基準どおりの点検であり、適正である。
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
後の方針 (評価結果及び今後)	陥没調査で発見された危険箇所について、修繕を実施する。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道黒谷東蔵線道路改良事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-1 幹線道路の整備				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道黒谷東蔵線は、歩道の無い県道三箇吉島線のバイパス機能を持つ路線で、片貝川河川堤防工事と併せて河川管理道路兼用の市道を整備し、効率的かつ安全な交通空間の確保を図る。	
	対象	市道黒谷東蔵線の利用者	
	手段 (活動指標)	県施工分の事業費負担、用地買収、地権者との交渉	
	意図 (成果指標)	未改良区間を改良することで、県道三ヶ吉島線のバイパスルートとしての機能を持たせ高齢者や子供等、交通弱者の安全と通行の円滑化を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	164,396,845	140,526,696	185,522,845
成果指標	②							
	③							
	① 事業進捗率 (累計)	%	100.0	85.5	100.0	100.0	100.0%	
②								
③								

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円			
② 委託料	円							
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円	40,518,000		19,392,000	20,378,493	20,378,493	5.1%	
⑤ その他	円							
支出合計 (A)		円	40,518,000	19,392,000	20,378,493	20,378,493	5.1%	0
財源内訳	① 国庫支出金	円	22,284,900	10,665,600	11,208,171	11,208,171	5.1%	
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	16,350,000	7,800,000	8,200,000	8,200,000	5.1%	
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,883,100	926,400	970,322	970,322	4.7%	
収入合計		円	40,518,000	19,392,000	20,378,493	20,378,493	5.1%	0
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	
	② 年間所要時間	時間	360	360	360	400	11.1%	
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,512,000	1,512,000	1,512,000	1,680,000	11.1%	0
総費用 (A+B)		円	42,030,000	20,904,000	21,890,493	22,058,493	5.5%	0

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	片貝川の河川管理用道路としては幅員4mであるが、7mで整備し、市が拡幅分の事業費を負担し、工事は県で行った。市の要望どおり実施されているか確認を行った。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当		
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当			
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当			
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し			
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。			
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。			
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。			
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
後の方針 (評価結果及び今後)		事業完了後、道路は市に引き渡された。今後は、市道として適正に管理していく。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	市道吉島10号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	平成28年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
基本事業名		16-1 幹線道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道吉島10号線は国道8号と平面交差され、交通量の増加が見込まれることから、道路を拡幅し、歩道を設置することにより、安全な交通空間、特に学童や高齢者等の歩行空間の確保を図る。	
	対象	市道吉島10号線	
	手段(活動指標)	用地買収、物件補償、工事施工、地権者との交渉、補助金申請等事務	
	意図(成果指標)	未改良区間を改良することで、渋滞を解消し、通行の円滑化を図る。 歩道を設置して歩行者が安心して通行できる環境にする。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額(累計)	円	274,895,111	202,152,986	268,732,986	208,362,986	77.5%	254,362,968
	②							
	③							
	① 事業進捗率(累計)	%	75	56	74	58	78.4%	70
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	10,000					
	② 委託料	円	1,807,137	960,019	3,592,000	3,261,600	239.7%	1,500,000
	③ 工事請負費	円	65,978,387	35,542,500	18,148,400	2,948,400	-91.7%	16,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	84,885,611	43,436,491	23,200,000			28,500,000
	支出合計(A)	円	152,681,135	79,939,010	44,940,400	6,210,000	-92.2%	46,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	87,650,373	45,707,323	24,717,220	3,415,500	-92.5%	25,300,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	56,435,000	28,360,000	18,200,000	2,500,000	-91.2%	18,600,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円		2,338,995				
	⑤ 一般財源	円	8,595,762	3,532,692	2,023,180	294,500	-91.7%	2,100,000
	収入合計	円	152,681,135	79,939,010	44,940,400	6,210,000	-92.2%	46,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	1,200	1,200	1,200	1,200	0.0%	1,200
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	5,040,000	5,040,000	5,040,000	5,040,000	0.0%	5,040,000
総費用(A+B)	円	157,721,135	84,979,010	49,980,400	11,250,000	-86.8%	51,040,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	・道路改良工事 1件、業務委託 2件	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当		
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当			
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当			
有効性	有効性	A	B	目標達成度	3 低い・未実施	用地・物件補償の難航により、目標を達成できなかった。			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し			
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。			
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。			
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。			
1次評価(課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
後の方針)	評価結果	幹線道路は重要な社会基盤であり、観光の振興や総合交通体系の整備を推進する上でも遅滞なく事業を進める必要がある。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	市道青島22号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道青島22号線は、市道経田西町北鬼江線と市道仏又青島線を結ぶ路線であり、沿線住民の生活道路として利用されているが、幅員が2.5m～5m程度と狭いことから、安全な通行の支障になっている。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保並びに市道経田西町北鬼江線と市道仏又青島線間のアクセスの向上を図るものである。	
	対象	市道青島22号線の利用者	
	手段 (活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図 (成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	110,169,154	89,624,999	107,324,999	110,714,770	103.2%	112,714,770
	②							
	③							
	① 進捗率 (累計)	%	100.0	81.4	100.0	98.0	98.0%	100.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	59,661	59,661				
	③ 工事請負費	円	51,413,155	35,532,000	20,761,920	20,761,920	-41.6%	2,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	7,430,915	2,767,915	327,851	327,851	-88.2%	
	支出合計 (A)	円	58,903,731	38,359,576	21,089,771	21,089,771	-45.0%	2,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	32,387,338	18,541,088	11,599,373	11,599,373	-37.4%	1,100,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	23,790,000	17,770,000	8,500,000	8,500,000	-52.2%	800,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円		460,845				
	⑤ 一般財源	円	2,726,393	1,587,643	990,398	990,398	-37.6%	100,000
	収入合計	円	58,903,731	38,359,576	21,089,771	21,089,771	-45.0%	2,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5		5	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	860	860		560	-34.9%	300
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3,612,000	3,612,000	0	2,352,000	-34.9%	1,260,000
	総費用 (A+B)	円	62,515,731	41,971,576	21,089,771	23,441,771	-44.1%	3,260,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) なため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果)	現況路線の青島22号線は、幅員が2.5m～5m程度と狭いことから、安全な通行の支障になっている。地区住民や通行する不特定多数の人々に障害がでるため、遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道緑ヶ丘線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道緑ヶ丘線は、国道 8 号と県道富山滑川魚津線を結ぶ道路であり、生活道路として利用されているほか、沿線には福祉施設が多くあるが、幅員が 4 m 程度と狭いことや線形が悪いことから、安全な通行に支障を来している。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。
	対象	市道緑ヶ丘線の利用者
	手段 (活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉
	意図 (成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 事業執行額 (累計)	円	22,992,929	2,583,000	37,583,000	12,915,800	34.4%	71,261,600
	②							
	③							
	① 進捗率 (累計)	%	32	4	53	18	34.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	5,725,800	693,000	5,032,800	5,032,800	626.2%	
	③ 工事請負費	円	5,377,129		5,300,000	5,300,000		58,345,800
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	10,000,000		24,394	24,394		
	支出合計 (A)	円	21,102,929	693,000	10,357,194	10,357,194	1394.5%	58,345,800
財源内訳	① 国庫支出金	円	11,606,610	381,150	5,696,456	5,696,456	1394.5%	32,090,190
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	8,460,000	200,000	4,600,000	4,600,000	2200.0%	23,630,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,036,319	111,850	60,738	60,738	-45.7%	2,625,610
	収入合計	円	21,102,929	693,000	10,357,194	10,357,194	1394.5%	58,345,800
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	840	840	840	1,060	26.2%	800
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3,528,000	3,528,000	3,528,000	4,452,000	26.2%	3,360,000
総費用 (A+B)	円	24,630,929	4,221,000	13,885,194	14,809,194	250.8%	61,705,800	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、設計	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の方針)	評価結果 (課題及び今後)	現況路線の市道緑ヶ丘線は、沿線には福祉施設が多くあるが、幅員が 4 m 程度と狭いことや線形が悪いことから、安全な通行に支障を来している。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るもので、地区住民や通行する不特定多数の人々に障害がでるため、遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道六郎丸32号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	平成29年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
		基本事業名	16-2 生活道路の整備				アウトソーシング導入状況	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道六郎丸32号線は、富山労災病院と県道三箇吉島線を結ぶ道路であり、病院利用者のアクセス道路として利用されている。富山労災病院は建替計画があり、建替後は当路線が主要道路になる予定である。幅員が7m程度と狭いことや歩道が整備されていないため、今後の交通量の増加や、歩行者の安全な通行に支障を来すおそれがある。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道六郎丸32号線の利用者	
	手 段 (活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意 図 (成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動指標 成果指標	① 事業執行額 (累計)	円	26,500,000	27,936,630	46,500,000	30,319,807	65.2%
②								
③								
① 進捗率 (累計)		%	29	30	50	33	66.0%	56
②								
③								

4 コスト情報	区 分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	支出内訳	①需用費	円					
②委託料		円	406,623	406,623	1,249,516	1,249,516	207.3%	
③工事請負費		円						25,000,000
④負担金補助及び交付金		円						
⑤その他		円	43,021,520	27,530,007	1,133,661	1,133,661	-95.9%	
	支出合計 (A)	円	43,428,143	27,936,630	2,383,177	2,383,177	-91.5%	25,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円	23,885,478	15,365,145	623,516	623,516	-95.9%	13,750,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円	17,580,000	11,320,000	400,000	400,000	-96.5%	10,100,000
	④その他 (使用料、雑入等)	円		58,820				
	⑤一般財源	円	1,962,665	1,192,665	1,359,661	1,359,661	14.0%	1,150,000
	収入合計	円	43,428,143	27,936,630	2,383,177	2,383,177	-91.5%	25,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	560	560	560	720	28.6%	300
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2,352,000	2,352,000	2,352,000	3,024,000	28.6%	1,260,000
	総 費用 (A+B)	円	45,780,143	30,288,630	4,735,177	5,407,177	-82.1%	26,260,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	3 低い・未実施	用地・物件補償の難航により、目標を達成できなかった。	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後 (評価方針) 評価結果及び今	当路線は、地区住民や労災病院へのアクセス道路として、建替えに合わせて遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道六郎丸33号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
		基本事業名	16-2 生活道路の整備				アウトソーシング導入状況	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道六郎丸33号線は、富山労災病院と県道三箇吉島線を結ぶ道路であり、病院利用者のアクセス道路として利用されている。富山労災病院は建替計画があり、建替後は当路線が病院への接続道路になる予定である。幅員が5m程度と狭いため、今後の交通量の増加や、歩行者の安全な通行に支障を来すおそれがある。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道六郎丸33号線の利用者	
	手続(活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図(成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額(累計)	円	19,400,000	17,218,615	19,400,000	17,218,615	88.8%	24,400,000
	②							
	③							
	① 進捗率(累計)	%	80	71	80	71	88.8%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円	21,275,000	16,275,000				5,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	6,943,615	943,615				
	支出合計(A)	円	28,218,615	17,218,615	0	0		5,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	15,520,238	9,470,238				2,750,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	11,350,000	6,900,000				2,000,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,348,377	848,377				250,000
	収入合計	円	28,218,615	17,218,615	0	0		5,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5		3	-40.0%	2
	② 年間所要時間	時間	760	760		360	-52.6%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,192,000	3,192,000	0	1,512,000	-52.6%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	31,410,615	20,410,615	0	1,512,000	-92.6%	6,260,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当		
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当			
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当			
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し			
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。			
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。			
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。			
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	後の方針(評価結果)	当路線は、地区住民や労災病院へのアクセス道路として、建替えに合わせて遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果			

1 基本項目	事業事業名	市道魚津駅友道線他舗装修繕事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成29年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
		基本事業名	16-3 道路維持管理体制の強化				アウトソーシング導入状況	
根拠法令	道路法			総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	路面性状調査の結果に伴い舗装修繕箇所を抽出し、路面の維持管理のため舗装修繕工事を行う。	
	対象	市が管理する市道における道路利用者。	
	手段 (活動指標)	舗装修繕工事。	
	意図 (成果指標)	道路利用者及び第三者被害の防止。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	20,000,000	143,044,650	40,000,000	238,978,890	597.4%	60,000,000
	②							
	③							
	① 事業進捗率 (累計)	%	20	143	40	239	597.5%	60
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円	143,044,650	143,044,650	109,740,494	95,934,240	-32.9%	10,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	143,044,650	143,044,650	109,740,494	95,934,240	-32.9%	10,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	78,674,557	78,674,557	60,357,271	52,763,832	-32.9%	5,500,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	62,300,000	62,300,000	44,400,000	38,800,000	-37.7%	4,000,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,070,093	2,070,093	4,983,223	4,370,408	111.1%	500,000
	収入合計	円	143,044,650	143,044,650	109,740,494	95,934,240	-32.9%	10,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	3
	② 年間所要時間	時間	600	600	600	1,060	76.7%	600
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	2,520,000	2,520,000	2,520,000	4,452,000	76.7%	2,520,000
	総費用 (A+B)	円	145,564,650	145,564,650	112,260,494	100,386,240	-31.0%	12,520,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	舗装の老朽化を判断するため路面性状調査を実施し、老朽化した舗装を打ち換える工事を実施した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	0	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後 (評価結果及び今後の方針)	路面性状調査の結果に基づき、計画的に舗装修繕をする必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	路面性状調査事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-3 道路維持管理体制の強化				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令	道路法			総合計画等への記載			総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	幹線道路を主として路面の状態を把握し、修繕の候補箇所を抽出すること、舗装に係る維持管理を効率的に行うために必要な情報を得ることを目的に点検を実施。併せて第三者被害を防止する観点から、ポットホールへの穴埋め等応急的な措置を行う。
	対象	市が管理する市道における道路利用者。
	手段 (活動指標)	路面性状測定車等によるひび割れ、わだち掘れ、縦断凹凸を評価し、併せて路面状況について写真による記録を行う。
	意図 (成果指標)	道路利用者及び第三者被害の防止。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度 計画
			計画	実績	計画	実績	達成率	
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	2,000,000	1,837,500	4,000,000	3,781,500	94.5%	
	②							
	③							
	① 事業進捗率 (累計)	%	50	46	100	100	100.0%	
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度 当初予算額
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	2,000,000	1,837,500	2,000,000	1,944,000	5.8%	
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	2,000,000	1,837,500	2,000,000	1,944,000	5.8%	0
財源内訳	① 国庫支出金	円			1,100,000	1,069,200		
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円			800,000	700,000		
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,000,000	1,837,500	100,000	174,800	-90.5%	
	収入合計	円	2,000,000	1,837,500	2,000,000	1,944,000	5.8%	0
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	
	② 年間所要時間	時間	340	340	340	360	5.9%	
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,428,000	1,428,000	1,428,000	1,512,000	5.9%	0
	総費用 (A+B)	円	3,428,000	3,265,500	3,428,000	3,456,000	5.8%	0

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市道住吉吉野線外64路線の路面性状測定車による路面性状調査を実施。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市の実施が義務付けられている。
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	0	A	コスト効率	1 高い	基準どおりの点検であり、適正である。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果及び今後)	今後も、定期的に路面性状調査を実施し、舗装の老朽化を把握する。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	道路付属物等点検事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成25年度	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-3 道路維持管理体制の強化				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令	道路法			総合計画等への記載			総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	道路照明施設等の道路付属物について、落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、施設の健全性の点検を行い、修繕等を計画的に進めることにより、安全な交通の確保を目的とする。	
	対象	市道の利用者	
	手段 (活動指標)	施設の健全性の点検を行うとともに、あわせてナットの締直し等の応急措置を行う	
	意図 (成果指標)	施設の修繕を計画的に進める	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度 計画
			計画	実績	計画	実績	達成率	
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	14,000,000	8,002,850	15,022,850	13,022,850	86.7%	
	②							
	③							
	① 進捗率 (累計)	%	100.0	57.2	100.0	100.0	100.0%	
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度 当初予算額
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	13,022,850	8,002,850	5,020,000	5,020,000	-37.3%	
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	13,022,850	8,002,850	5,020,000	5,020,000	-37.3%	0
財源内訳	① 国庫支出金	円	3,861,000	4,400,000	2,761,000	2,761,000	-37.3%	
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	2,840,000	3,200,000	2,000,000	2,000,000	-37.5%	
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	6,321,850	402,850	259,000	259,000	-35.7%	
	収入合計	円	13,022,850	8,002,850	5,020,000	5,020,000	-37.3%	0
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3		3	0.0%	
	② 年間所要時間	時間	340	340		160	-52.9%	
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,428,000	1,428,000	0	672,000	-52.9%	0
	総費用 (A+B)	円	14,450,850	9,430,850	5,020,000	5,692,000	-39.6%	0

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	施設の健全性の点検を行うとともに、あわせてナットの締直し等の応急措置を行い、施設の修繕を計画的に進める。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市の実施が義務付けられている。
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	0	A	コスト効率	1 高い	基準どおりの点検であり、適正である。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針 (評価結果及び今後)	点検の結果をもとに今後は計画的に修繕を行っていく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	地籍調査事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	地籍調査事業				係名	用地開発係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1089		
	事業期間	開始年度	平成21年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	土木管理費
		施策名	15 良好な都市の形成				目	土木総務費
基本事業名	15-1 計画的な都市環境づくりの推進				アウトソーシング導入状況	導入済(業務委託)		
根拠法令	国土調査法(昭和26年法律第180号)第6条の4				総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	国土調査法に基づき、1筆ごとの土地について、所有者の立会いの下、①所有者、②地番、③地目、④境界を確認し、現代の正確な測量技術で⑤面積を測定し、その結果を登記簿、公図に反映させるもの。
	対象	魚津市の土地の登記
	手段(活動指標)	土地の境界立会い、地図の閲覧業務及び地籍調査業務の啓発活動
	意図(成果指標)	調査により、土地の登記を正確なものに修正し、市民の財産を適正に保護する。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 上口地区地籍調査対象面積	k㎡	0	0	-	-	-	-
	② 本町地区地籍調査対象面積	k㎡	0	0	-	-	-	0
	③ 筆界立会件数	筆	50	57	10	-	-	-
	① 上口地区地籍調査実施済面積	%	100	100	100	100	100.0%	100
	② 本町地区地籍調査実施済面積	%	1	1	-	-	-	9
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	15,230	15,230	80,000	49,266	223.5%	80,000
	② 委託料	円	2,115,700	2,115,700	114,000	113,400	-94.6%	474,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	30,000	30,000	25,000			26,000
	⑤ その他	円	70,000	70,000	88,000	54,650	-21.9%	88,000
	支出合計(A)	円	2,230,930	2,230,930	307,000	217,316	-90.3%	668,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	1,040,000	1,040,000				
	② 県支出金	円	520,000	520,000				270,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	670,930	670,930	307,000	217,316	-67.6%	398,000
	収入合計	円	2,230,930	2,230,930	307,000	217,316	-90.3%	668,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,040	1,040	1,040	1,400	34.6%	1,400
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	4,368,000	4,368,000	4,368,000	5,880,000	34.6%	5,880,000
	総費用(A+B)	円	6,598,930	6,598,930	4,675,000	6,097,316	-7.6%	6,548,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	上口地区の成果の認証請求、大町地区地籍調査業務の啓発活動	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市による関与が義務付けられている。
目的の妥当性					1 妥当である	土地の権利情報を示す登記簿、公図を正確に修正することにより、土地の開発等の利用が促進され、施策「良好な都市の形成」に貢献する。	
対象の妥当性					1 妥当である	現状の対象は適切であり、見直しの余地なし。	
有効性	有効性	A	C	目標達成度	2 目標どおり	計画していた上口地区及び本町地区の火災区域の地籍調査は、作業の遅れがあるもののほぼ予定通り進捗している。	
				類似事業の有無	3 あり	区画整理事業、土地改良事業により、地籍調査と同様に土地登記が正確になるため、調査が進捗する。	
				上位施策への貢献度	1 高い	土地の権利情報を示す登記簿、公図を正確に修正することにより、土地の開発等の利用が促進され、施策「良好な都市の形成」に貢献する。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	高度な測量技術やそれに伴う各種書類作成が必要であるため、民間業者へ委託しており、コスト削減の余地なし。	
				実施主体の適正化	1 適正である	法令により市が実施主体であることは適正である。	
				負担割合の適正化	1 適正である	法令で土地の所有者の負担は、境界確認立会いの際の交通費等以外からならないことになっている。	
	1次評価(課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の方針(評価結果)	更に事業を推進していくために、本町地区の大規模火災区域の地籍調査事業の取組をきっかけとして、大町地区住民等に対して地籍調査事業の啓発に取り組む必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業		担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	急傾斜地崩壊対策事業			係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	予会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			款	土木費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保			項	土木管理費
		施策名	11 災害に強いまちの形成			目	急傾斜地崩壊対策事業費
基本事業名	11-2 山地崩壊対策等の強化		アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令	急傾斜地法		総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載			

2 事業概要	事業概要	急傾斜地の崩壊による災害を防ぐため法面対策工を施し、被害のおそれがある人家等に関し、安全を図る。	
	対象	急傾斜地の崩壊により被害のおそれがある人家等	
	手段 (活動指標)	法面対策工	
	意図 (成果指標)	安全で安心な生活を確保する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 事業執行額 (累計)	円			29,800,000	0	0.0%	59,800,000
	②							
	③							
	① 事業進捗率 (累計)	%			43	0	0.0%	85
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円			9,800,000			9,800,000
	③ 工事請負費	円			19,900,000			49,800,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円			100,000			200,000
	支出合計 (A)	円	0	0	29,800,000	0		59,800,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円			14,900,000			29,900,000
	③ 地方債	円			14,900,000			29,900,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	0	0	29,800,000	0		59,800,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人				2		2
	② 年間所要時間	時間				80		300
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	0	0	0	336,000		1,260,000
総費用 (A+B)	円	0	0	29,800,000	336,000		61,060,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	平成26年12月補正により追加割当され、平成27年度に繰越し実施。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	【選択してください】	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市の実施が義務付けられている。	
目的の妥当性				1 妥当である	人家を守るため妥当である。		
対象の妥当性				1 妥当である	5軒以上の人家があり妥当である。		
有効性	【選択してください】	A	目標達成度	3 低い・未実施	当初予算が十分割当されず、補正予算にて対応したため、着工できなかった。		
			類似事業の有無	1 なし	小規模な物で類似事業は無い。		
			上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。		
効率性	【選択してください】	A	コスト効率	1 高い	最低限の施設であり、適正である。		
			実施主体の適正化	1 適正である	民間で実施する余地はない。		
			負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。		
1次評価 (課長総括)	【選択してください】	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
後の方針 (評価結果及び今後)	今後も、急傾斜地崩壊対策事業を推進していく。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	街路灯更新事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成26年度	終了年度	平成30年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-3 道路維持管理体制の強化				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	道路照明施設について、落下や倒壊による第三者被害を防止する観点から、老朽化した施設を修繕し、施設の健全性を図るとともに安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道の利用者	
	手段 (活動指標)	老朽化した施設を修繕する	
	意図 (成果指標)	施設の修繕を計画的に進める	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 修繕基数	基			12	12	100.0%	10
	②							
	③							
	① 修繕基数 (累計)	基			12	12	100.0%	22
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円			12,052,800	12,052,800		8,000,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計 (A)	円	0	0	12,052,800	12,052,800		8,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円			6,629,040	6,629,040		4,400,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円			4,800,000	4,800,000		3,200,000
	④その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円			623,760	623,760		400,000
	収入合計	円	0	0	12,052,800	12,052,800		8,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人				3		3
	②年間所要時間	時間				200		200
	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	0	0	0	840,000		840,000
総費用 (A+B)	円	0	0	12,052,800	12,892,800		8,840,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	点検結果に基づき、老朽化した街路灯をLEDの街路灯に更新した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	【選択してください】	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法令により市の実施が義務付けられている。	
目的の妥当性					1 妥当である	道路事故を未然に防ぐため妥当		
対象の妥当性					1 妥当である	道路管理物であるため妥当		
有効性	【選択してください】	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している		
				類似事業の有無	1 なし	類似事業なし		
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。		
効率性	【選択してください】	A	A	コスト効率	1 高い	LED照明灯に更新し、トータルコストの縮減を図っている。		
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。		
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。		
1次評価 (課長総括)	【選択してください】	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要		
後の方針 (評価結果及び今後)	点検の結果をもとに今後も計画的に修繕を行っていく必要がある。				評価結果			